

# 令和2年度定期作況報告

7月20日現在  
道総研酪農試験場

## I. 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次の通りである。

6月下旬：最低気温は9.8℃で平年並であったが、最高気温は15.6℃で平年より4.0℃低かったため、平均気温は12.3℃で平年より1.7℃低かった。降水量は59.5mmで平年より26.0mm多かった。日照時間は8.8時間で平年より37.1時間少なかった。

7月上旬：最高気温および最低気温が21.0および13.1℃でそれぞれ平年並であったため、平均気温は16.1℃で平年並であった。降水量は16.0mmで平年より34.1mm少なかった。日照時間は29.2時間で平年より11.9時間少なかった。

7月中旬：最低気温は12.8℃で平年並であったが、最高気温は20.6℃で平年より2.0℃低かったため、平均気温は15.9℃で平年より1.4℃低かった。降水量は1.0mmで平年より36.5mm少なかった。日照時間は35.4時間で平年並であった。

この1ヶ月間は6月下旬で最高気温が極めて低く、日照時間が極めて少ないこと、7月上旬および中旬で降水量が極めて少ないことが特徴的であったが、降水量として計測されない0.5mm以下の霧雨が降ることが多く7月上中旬でも畑が乾燥状態になることは殆どなかった。総じて、気温はやや低く、降水量はやや少なく、日照時間は少なかった。

気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (°C)	12.3	14.0	△ 1.7	16.1	16.1	0.0	15.9	17.3	△ 1.4	14.8	15.8	△ 1.0
最高気温 (°C)	15.6	19.6	△ 4.0	21.0	21.3	△ 0.3	20.6	22.6	△ 2.0	19.1	21.2	△ 2.1
最低気温 (°C)	9.8	9.7	0.1	13.1	12.3	0.8	12.8	13.4	△ 0.6	11.9	11.8	0.1
降水量 (mm)	59.5	33.5	26.0	16.0	50.1	△ 34.1	1.0	37.5	△ 36.5	76.5	121.1	△ 44.6
降水日数 (日)	6.0	4.2	1.8	5.0	4.1	0.9	2.0	3.7	△ 1.7	13.0	12.0	1.0
日照時間 (時間)	8.8	45.9	△ 37.1	29.2	41.1	△ 11.9	35.4	39.5	△ 4.1	73.4	126.5	△ 53.1

注1) 平年値は前10カ年平均値。

2) △は負の値を示す。

## Ⅱ. 当 場 作 況

### 1. とうもろこし

作況：良

#### 事 由

6月下旬から7月中旬にかけて低温寡照傾向であったが、それまでの生育が順調であったことから平年と比べて生育は進んでいる。7月20日現在、草丈は平年より11 cm 高く、出葉数は平年より0.8枚多い。

これらのことから、目下の作況は良と判断される。

品種名	草丈 (cm)			出葉数(枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	116	105	11	11.9	11.1	0.8

- 注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
- 2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成 22 年度から供試品種を「たちぴりか」に変更している。
- 3) 平年値は前 7 カ年のうち最豊年の平成 26 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。
- 4) △は減を示す。

## 2. 牧草

### (1) 採草型

#### チモシー単播

作況：2番草 並

#### 事由

6月下旬から7月中旬にかけて気温はやや低く、降水量はやや少なかったものの、1番草の刈取月日が平年より4日早かったため、草丈は生育期間に応じて伸長した。7月20日現在の草丈は、2年目草地で55cm、3年目草地で56cmであり、平年よりも2年目草地で4cm高く、3年目草地で5cm高かったことから総じて並と判断される。

したがって、現時点での2番草の作況は並と判断される。

草地	草種	2番草 7月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	55	51	4
「なつちから」3年目	TY単播	56	51	5

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成30年度から供試品種を「ノサップ」から「なつちから」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最凶年（2年目草地：平成28年、3年目草地：平成28年）と最豊年（2年目草地：平成26年、3年目草地：平成29年）を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：2番草 良

作況：3番草 並

事由

2番草：6月上・中旬にかけて気温は平年よりも高めに推移し、生育は順調にすすんだ。2番草の草丈は平年よりも、2年目草地で2cm、3年目草地で5cm低かった。乾物収量は平年よりも、2年目草地で50kg、3年目草地で47kg多かったことから総じて良と判断される。

以上のことから、2番草の作況は良と判断される。

3番草：7月20日現在の3番草の草丈は平年よりも、2年目草地で7cm、3年目草地で1cm高かったことから総じて平年並と判断される。

したがって、現時点での3番草の作況は並と判断される。

草地	草種	2番草						3番草		
		刈取月日			草丈(cm)			7月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	7.1	7.1	0	58	60	△2	52	45	7
「ハルジマン」3年目	OG単播	7.1	7.1	0	49	54	△5	42	41	1

草地	草種	2番草					
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	1315	960	355	224	174	50
「ハルジマン」3年目	OG単播	1169	905	264	212	165	47

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釦地域全体の作況を表現しているものではない。

2) OG：オーチャードグラス。

3) 平年値は、2年目草地については平成26年～令和元年の6カ年の平均値、3年目草地については平成27年～令和元年の5カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

メドウフェスク単播

作況：2 番草 良  
作況：3 番草 やや良

事 由

2 番草：6 月上・中旬にかけて気温は平年よりも高めに推移し、生育は順調にすすんだ。2 番草の草丈は平年よりも、2 年目草地で 19cm、3 年目草地で 13 cm高かった。乾物収量は平年よりも、2 年目草地で 28kg、3 年目草地で 48 kg多かったことから総じて良と判断される。

以上のことから、2 番草の作況は良と判断される。

3 番草：7 月 20 日現在の 3 番草の草丈は平年よりも 2 年目草地、3 年目草地ともに 4 cm高かったことから総じてやや高いと判断される。

したがって、現時点での 3 番草の作況はやや良と判断される。

草地	草種	2 番 草						3 番 草		
		刈取月日			草丈(cm)			7月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	7.1	7.1	0	69	50	19	42	38	4
「まきばさかえ」3年目	MF単播	7.1	7.1	0	57	44	13	36	32	4

草地	草種	2 番 草					
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目MF単播		1017	799	218	183	156	28
「まきばさかえ」3年目MF単播		1002	753	249	201	153	48

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) MF：メドウフェスク。

3) 令和 2 年から放牧型としてメドウフェスクの作況も掲載する。

4) 平年値は、2 年目草地については平成 26 年～令和元年の 6 カ年の平均値、3 年目草地については平成 27 年～令和元年の 5 カ年の平均値である。

5) △は減を示す。